

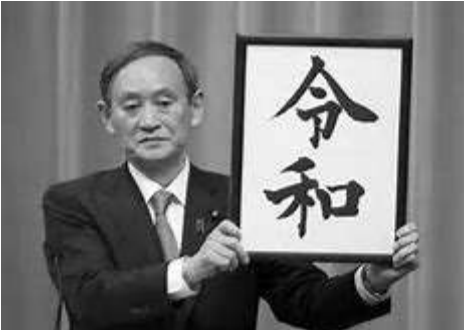
時の動き

安倍晋三の野望、新元号「令和」

企画編集委員 小田切 博

新元号の政治ショー

5月1日新天皇即位が行われ、改元で令和元年となった。万葉集から、歌



新元号「令和」を掲げる菅官房長官

人大伴旅人（おとおものたびと）が宴会で述べた「初春の令月（れいげつ）にして、月淑（よ）く風和（やわら）ぎ」を典拠とする新元号「令和」が決まった。安倍首相は国書からの典拠にこだわったという。

4月1日は朝から新元号フィーバーであった。テレビはこのチャンネルに回しても新元号特番だ。11時40分菅官房長官が新元号「令和」を発表する。安倍首相は今までに例のない首相談話の記者会見を行う。正午過ぎには新聞各社は号外を出す。その号外がネットオークションで5550円の値がつく。11…30〜12…00の30分間

で200万ツイート（つぶやき）というSNSの過熱ぶりだ。

この新元号発表を安倍政権は政治利用した。「安倍9条改憲NO！全国市民アクション」の呼びかけ人になっている思想家の内田樹氏は、「政権が元号発表を政治ショー化したことが問題だ。政治的な難題は棚上げ。統一地方選の最中でありフェアでない」と述べている。

安倍首相談話と自民党改憲草案

そして問題なのが首相談話である。「この『令和』には、人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ、

という意味が込められております」と述べ、「悠久の歴史と薫り高き文化、・・・こうした・・・日本の国柄を、しっかりと次の時代へと引き継いでいく。」と持論を新元号に重ねている。「元号は、皇室の長い伝統と、・・・日本国民の精神的な一体感を支えるものともなっています」というに至っては、復古主義者、ナショナリストの何ものでもない。

自民党改憲草案を思い出そう。「日本国は、長い歴史と固有の文化を持ち、国民統合の象徴である天皇を戴く国家であって・・・中略・・・日本国民は、国と郷土を誇りと気概を持って自ら守り、基本的人権を尊重するとともに、和を尊び、家族や社会全体が互いに助け合つて国家を形成する。・・・中略・・・日本国民は、良き伝統と我々の国家を末永く子孫に継承するため、ここに、この憲法を制定する」まさに安倍談話にピッタリ符合するではない

か。まるで憲法改「正」談話みたいだ。

「息を吐くようにウンをつく」

独裁者

そして、記者の質疑の中で、「ちょうど本日から働き方改革が本格的にスタートします。70年ぶりの労働基準法の大改革です。・・・国民的な理解のもとに行われるようになってきた」と強行採決した働き方改革法を「国民的理解のもとに」と置き換えて述べている。

彼はまさに、「息を吐くようにウンをつく」独裁者だ。ヒトラーは言った。「嘘を大声で十分に時間を費やして語れば人はそれを信じる」。大量のビラを撒き、街のいたるところに自分の写真を貼り付け、「ドイツ民族の栄光を取り戻す」と言つて多数派をつくつていった。安倍晋三の行き着くところは、ヒトラーが行つた「民主主義の手続きを経て全権委任法を制定し、ワイマー

ル憲法を死文化」したように、日本国憲法の改悪だ。

安倍首相は新元号で新しい時代が始まるかのような談話をしているが、元号が変わつて時代が新しくなるものではない。社会を作り歴史をつくるのは国民一人ひとりである。

安倍首相は改元・皇位継承を好機としてメディアを利用し、国民に憲法改「正」の暗示をかけようとしている。

恐ろしい時代を再び招くな

「令和」という言葉自体に罪はない、もちろん発案者にも罪はない。それを利用して国民を操ろうとする安倍晋三という男の恐ろしさを知る。安倍首相のメディア操作を許してはいけない。時間はない、全国の職場から、地域から、アベ政治を引きずり降ろす運動を始めよう。恐ろしい時代を再び呼び起こさないために。

(おたぎり ひろし)